

分科会要項

教育文化センター〈各室〉にて

1 地方教育行政【301】

テーマ「学校の組織・運営を検証する～『学校の自主性・自律性確保』は怎么样了か？」

基調報告 「地方教育行政改革の現状と学校の組織・運営を検討する」

我妻秀範（府高綾部高校分会、地教行研事務局）

報告

①「市立高校における職員会議の状況と課題」

秋山吉則（佛教大学大学院、前市高教組）

②「学校における『新しい職』と学校運営」

京都教職員組合より

③「京都市教委の学校管理～その歴史と現状・課題」

京都市教職員組合より

2 生活指導【302 A】

テーマ「子どもたちの生きづらさをこえる生活指導・教師の仕事」

問題提起「子どもたちの生きづらさの現実」

（研究者交渉中）

実践報告

①「今じゃなくてもいいよ、甘えていいよ」

瀬戸有佳子（府内小学校）

②「本音で語り、信じあえる集団づくり」

石川信（府内中学校）

3 学力・教育課程【203】

テーマ「国際化時代を生きる学力とは—国際相互理解のために、英語教育と歴史教育に何が必要か—」

基調報告 鋒山泰弘（追手門学院大学）

報告

①「中学歴史教科書記述と植民地・戦争認識の関係」

大八木賢治（立命館宇治中学校）

②「安易な早期教育に未来はあるか」

得丸浩一（京都市公立小学校）

③「何のために英語を学ぶのか」

西田陽子（府立乙訓高校）

4 発達問題【204】

テーマ「学校・地域で平和を伝え、すべての子ども・青年の豊かな発達を」

基調報告 浅井定雄（研究会代表代行）

報告

①「戦争を語り継ぎ、平和な未来を」

足立恭子（戦争遺跡に平和を学ぶ会）

②「緊急保護される子どもたち」

谷 進太郎（児童相談所指導員）

③「進路保障と就学支援のとりくみ」

谷口藤雄（府立高校）

5 子どもの発達と地域【202】

テーマ「子どもにとってすべてが育ちの場」

基調報告 姫野美佐子（研究会事務局）

レポート 二人の保護者から、学校について思うこと、地域の活動を通じて見えてきたことをお話しします。

6 家庭教育・民主的カウンセリング【205】

テーマ「生き生きとした温かい人間関係をつくるために」

基調報告 原木とし子（研究会事務局）

内容 民主的カウンセリング・ワークショップ

ますます生きにくさを感じる社会の中で、お互いを尊重しあう人間関係をきずくことは、大きな力となります。共に抱えている問題を聴き合い、自分にも人にも優しさをもたらすエンカウンター・グループを体験してみませんか。

7 高校問題【302 B】

テーマ「若者の声から主権者を育てる教育を探る—どうする！18歳選挙権 Part 2—」

基調報告 原田久（研究会代表、教育センター）
報告

○「若者の声」

・18歳選挙権について府内の高校生、戦争法制反対の運動に参加した SEALDs KANSAI の大学生からレポート

○18歳選挙権に関する実践レポート

8 教科教育 国語部会【地域公益事業室】

テーマ「真実のことは子どもたちに」

基調報告 相模光弘（第二向陽小）

報告

① 小学校・中学年の作文教育「元気いっぱい、子どもたちはおもしろい！」

菱山充恵（長岡第八小）

② 小学校・2年文学教育「名前を見てちょうだい」あまんきみこ作 加藤耕太（長岡第十小）

③ 高校・「少年飛行兵」「ナガサキの郵便配達」「私はヒロシマ、ナガサキに原爆を投下した」の授業～日本・イギリス・アメリカの文章から戦争を考える～ 九野里信夫（東山高校）

9 障害児教育【101】

テーマ「実践を通して考える『教科別の指導』『教科・領域に分けない指導』（仮）

分科会の趣旨説明 京都障害児教育研究センター

報告 京都府立特別支援学校及び

京都市立総合支援学校より（仮）